令和８年度
全国学力・学習状況調査

（１）調査日　　令和８年４月２３日（木）

（２）調査対象　市立小学校５０校の６年生、義務教育学校１校の６年生
　　市立中学校１７校の３年生、義務教育学校１校の９年生

（３）調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ると共に、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

（４）調査内容

①調査を実施した児童生徒数

	国　語	算数・数学
児童数	2,458	2,458
生徒数	2,127	2,137

②生活習慣や学習環境等に関する質問調査

・児童生徒に対する調査
　（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査）

・学校に対する調査
　（指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査）

和歌山市では、調査結果を分析し、自らの教育及び教育施策の改善、各児童生徒の全般的な学習状況の改善等につなげるため、具体策を立てると共に、教育委員会や学校が、保護者や地域住民に対して説明責任を果たすことが重要であると考えており、本市のホームページや各学校の学校だより等を通じて結果を公表します。

一方で、本調査によって測定できるのは、学力の特定の一部分であること、学校における教育活動の一側面であることも踏まえ、決して各学校の序列化や過度な競争に発展することのないように、教育上の効果や影響等に十分配慮し、児童生徒の健全な成長を念頭に、学力向上のための具体策に取り組んでいきます。